

建築銅管(1/2, 3/4, 1)用リテーナ

■呼びサイズ 1/2, 2/3, 1 の建築銅管のメカ接合にアバカス継手と、専用リテーナ(注1)で無火気施工が実現します。

■既設銅管からステンレス管への更新改修にもそのまま絶縁なしで施工できます。(注2)
銅管のサイズ11/4, 11/2, 2インチの場合は裏面記載の専用オスアダプタを使用ください。



《必要なもの》

建築銅管用リテーナ + SUSアバカス継手 (リテーナをSu用から銅管用に交換) + マーキングゲージ



《適用範囲》

使用圧	1.0MPa
最高使用温度	85℃
用途	給水、給湯、冷温水

《適用銅管》

JIS H3300配管用及び水道用銅管M、L 質別H(直管)

呼び	外径(mm)	タイプ	肉厚(mm)
15A	15.88	M	0.71
		L	1.02
20A	22.22	M	0.81
		L	1.14
25A	28.58	M	0.89
		L	1.27

注1)

建築銅管用のリテーナはインジケーターの色が黄色です
ステンレス管用はピンク色ですので用途に合わせて下さい。

注2)

ステンレスと青銅、または銅との電位差は殆どゼロの為
絶縁の処置は不要で、下記のような接合が可能です



左側は銅管、右側にステンレス(Su)管を直結

アバカス継手の施工には講習会の受講をお願いします

《施工手順》



①管の切断

ローラーカッターで管軸に直角に切断して下さい。
銅管に傷や変形がある場合使用できません。



②面取り

銅管の内外面の面取りを必ず実施下さい。



③差し込み標線の記入

マーキングゲージなどで 所定の位置 (管端から43mm位置) に標線を記入下さい。



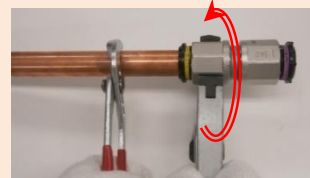
④リテーナ交換, 銅管差し込み

リテーナを建築銅管用に交換後銅管の標線がリテーナに隠れるまで、銅管を差し込んで下さい。



⑤リテーナの手締め

ナットを固定し、リテーナを時計回りに手締めしてください。



⑥ナットの本締め

銅管をプライヤーなどで固定し、ナットを反時計回りにレンチで締め込む。黄色のインジケーターが隠れると、締込を止めて下さい。



⑦確認-1

標線の位置がマーキングゲージの旗印の位置(12mm)を超えないこと



⑦確認-2

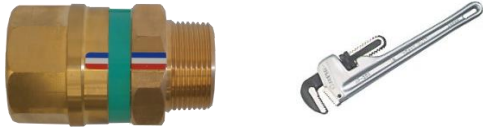
リテーナの黄色のインジケーターが見えないこと。



建築銅管(1¹/₄, 1¹/₂, 2)専用オスアダプター【転造溝式】

- 呼びサイズ1¹/₄, 1¹/₂, 2インチの建築銅管にはこのおすアダプタを使用ください。
改修や緊急の補修用にはバルブなどを接合して対応下さい。
- 既設銅管からステンレス管への更新改修にもそのまま絶縁なしで施工できます。(注2)
銅管のサイズ1/2, 3/4, 1インチの場合は裏面記載のアパカス継手と専用リテーナをご使用ください。

《必要なもの》
建築銅管用おすアダプタ + 汎用パイプレンチ



施工要領とご注意点の説明が必要ですので
ご使用時には弊社にご連絡をお願いいたします。
なお、冷媒配管には使用できません。

《構造》

	部品名	材質
①	継手本体	CAC406C
②	ナット	CAC406C
③	アパカスリング	CAC406C
④	そろばん玉	SUS420J2
⑤	スペーサー	SUS304-CSP
⑥	ナット側スペーサー	SUS304-CSP
⑦	パイプグリップ	SUS304-WPB
⑧	Oリング	EPDM E575

呼び	L	H	ΦD	R
1 ¹ / ₄	82	55.1	57.1	1 ¹ / ₄
1 ¹ / ₂	82	61.5	63.5	1 ¹ / ₂
2	86	74.2	76.2	2

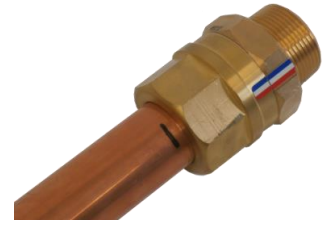
《使用範囲》

使用圧	1.0MPa
最高使用温度	60℃
用途	給水、給湯、冷温水

《適用銅管》

JIS H3300配管用及び水道用銅管M.L 質別H(直管)

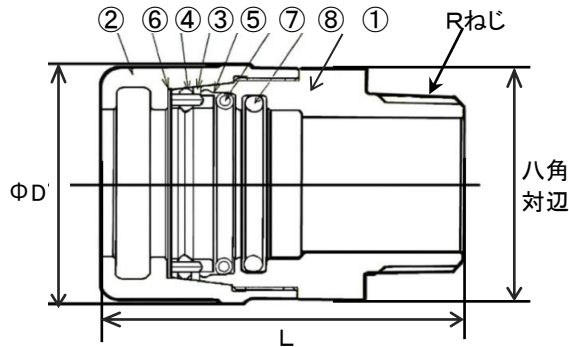
呼び	外径(mm)	タイプ	肉厚(mm)
32A(1 ¹ / ₄)	34.92	M	1.07
		L	1.40
40A(1 ¹ / ₂)	41.28	M	1.24
		L	1.52
50A(2)	53.98	M	1.47
		L	1.78



《ステンレス管との接合例》



(注2) ステンレス管と青銅又は銅との電位差は殆どゼロの為、絶縁の処置は不要です



《施工手順》



① 管の切断

ローラーカッターで管軸に直角に切断して下さい。銅管に傷や変形がある場合使用できません。



② 面取り

銅管の内外面の面取りを必ず実施下さい。



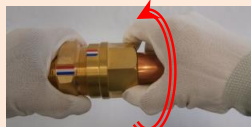
③ 差し込み標線の記入

所定の位置(管端から54mmの位置)に標線を記入下さい。



④ 銅管差し込み

銅管の標線がナットに隠れるまで、銅管を差込んで下さい。



⑤ ナットの手締め

本体から緑色のスペーサーを外し、ナットを手締めして下さい。



⑥ ナットの本手締め

ナットを締め込みしてください。三色の合いマークが横一致するまで完全に締切る。



⑦ 確認-1

標線の位置がナット端から10mmを超えないこと



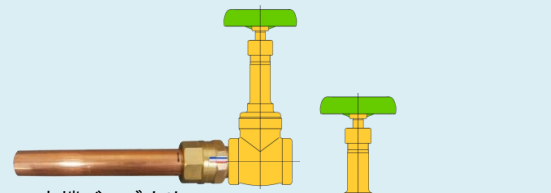
⑦ 確認-2

三色の合いマークが横で一致していること。

注意事項

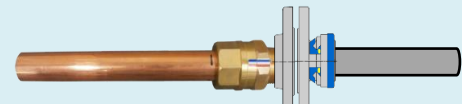
継手の再接合、再使用は禁止
コイル管(O,OL)には使用できません。
近傍でロウ付けを行う場合、間に濡れ雑巾などで、熱の伝導を防止下さい。

《接合例 イメージ》

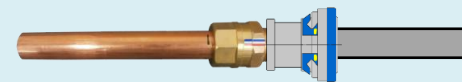


末端バルブ止め

バルブ止め+おすアダプターによるSu管接合



10ねじ込みフランジ+おすアダプターによるSU管接合



めすアダプターによるSu管接合



絶縁型めすアダプターによるライニング銅管接合

